

溶接学会記念基金助成活動「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会発足のお知らせと参加のご案内

溶接学会における研究活動の充実・強化と、それによる学会員の研鑽に資することを目的とした各種研究会の設立主旨に則り、この度、「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会が発足いたしました。本委員会の目的、内容および委員構成は下記の通りです。本委員会にご興味のある学会員の方は広くメンバーを募集しておりますので、主査宛に直接ご連絡ください。皆様のご参加・ご協力をお願い申し上げます。

1. 目的と内容

現在の日本を取り巻く経済的な環境により、我が国は優れた溶接技能者の減少と技術伝承システムの衰退およびそれらに起因した溶接技術者の育成に関する問題を抱えるに至っている。

一方、発展途上にある東南アジア諸国においては自国の工業レベルの向上に向けた動きが極めて活発であり、産業における基盤技術の一つである溶接技術に関しても研究・開発を進めようと熱心にその方向性を模索している。また、工業先進国においては (i) 先進的な技術の向上・革新と同時に (ii) 旧来技術を教育産業として海外展開しつつ (iii) その国に於ける産業への影響力を確保するといった、生産力の衰退に対する総合的な抑止と産業発展に向けた積極的な取り組みがなされている。科学技術立国を自負する我が国としては、生産技術において常に世界をリードする立場に在るべきであり、その基盤技術である溶接技術は、まさに前述のような対策を最も必要としている技術の一つといえる。我が国の溶接技術は世界に誇れるものであり、我が国の将来のあり方を考える際、溶接技術に関する研究・開発の中核を担う我々が今これらの活動を行わなければ、優れた技術の蓄積が失われることが危惧される。

このような背景から、溶接に関連する学協会や組織による国際活動の拡大が期待される中、長期的な視野に立つと、若手の技術者・研究者の国境を越えたネットワークが非常に重要かつ必要不可欠である事は他言を待たない。今こそ我が国の溶接に関連した若手技術者・研究者が主体となって世界規模での情報あるいは人的ネットワークの形成を目指すべきであると考え。そこで本委員会では、とくに若手会員の会運営委員会と連携し、若い溶接技術者・研究者のグローバルネッ

トワークを築く機会を積極的に増やす活動を行う。

本委員会の活動内容としては下記の事項を予定している。

- (1) 本委員会の委員が情報交換し、活動方針を議論し、具体的な計画について検討する研究会を定期的に開催する。
- (2) 様々な情報を電子情報化し、そのメリットを活かすため、インターネットを通じて様々な情報交換を図る。
- (3) 国際的な情報交換や人的交流あるいは活動の場を形成するためのグローバルネットワークを形成するため、広く世界（とくに初期は東南アジア諸国を主たる対象とする）の若手技術者・研究者を我が国に招致し、溶接技術に関するセミナーを開催する。（本委員会委員が海外に出向き、セミナーを開催することも計画中である。）

※ 項目(3)については、事前に種々のニーズや招待者に関する十分な調査を行う必要があり、この調査には大学のみならず企業や各種研究機関からの意見も十分に採り入れ、政府関連組織との連携を図ることを予定している。

2. 研究期間 ～平成17年3月31日（予定）

3. 主査および委員構成

森 裕章（主査、大阪大学）
高橋邦夫（副査、東京工業大学）
大畑 充（幹事、大阪大学）
川上博士（幹事、三重大学）
佐藤 裕（幹事、東北大学）
武市祥司（幹事、東京大学）
田中 学（幹事、大阪大学）
山本元道（幹事、広島大学）

※ 上記の他、委員として若手会員の会運営委員を予定

4. 問い合わせ先

森 裕章
大阪大学大学院 工学研究科 生産科学専攻
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1
TEL：06-6879-7543 FAX：06-6879-7570
E-mail：mori@mapse.eng.osaka-u.ac.jp